

予算審査のあらまし

予算特別委員会を設置

2月25日の本会議において、予算特別委員会を設置し、平成23年度各会計予算および平成22年度各会計の補正予算の審査を付託しました。

引き続き委員会を開会し、委員長、副委員長および理事を選出しました。

- ▽委員 議長を除く全議員
- ▽委員長 山路 良成
- ▽副委員長 井桁 敦子
- 菊地 貞二
- 阿部祐美子
- 高橋 慎司
- 西本 貴子
- 市川 和子

委員会は3月7日に、平成22年度の各会計補正予算の審査を

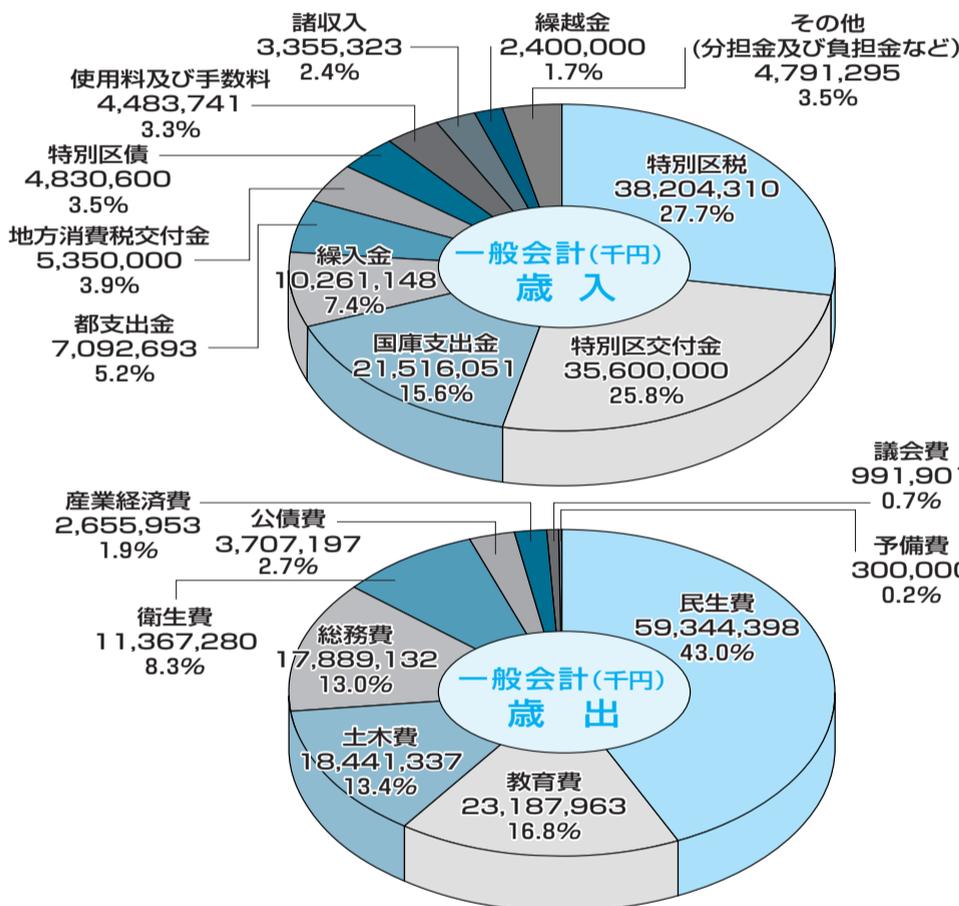


平成23年度予算の概要 (単位千円)

会計	予算額	前年度当初予算額	伸率
一般会計	137,885,161	139,174,463	△0.9%
国民健康保険事業会計	36,646,890	36,005,158	1.8%
後期高齢者医療特別会計	6,596,744	6,359,531	3.7%
介護保険特別会計	18,356,792	17,672,038	3.9%

行いました。同日採決を行った結果、老人保健医療特別会計は全会一致で、一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計は賛成多数で可決すべきものと決定しました。翌日8日からは平成23年度予算の審査に入り、22日までのうち計8日間審査が行われました。

最終日3月22日には、共産から提出された一般会計の修正案について提案説明の後、各党派より意見表明が行われ、採決の結果、一般会計の修正案は賛成少数で否決、一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計は賛成多数で可決すべきものと決定しました。



平成22年度補正予算

一般会計補正予算は、総額15億513万7千円を減額し、1千394億9千200万9千円としました。主な内容は、歳入は、寄付金・特別区税等の増、繰入金・国庫支出金の減であり、歳出は総務費等の増、土木費等の減です。

会計	補正額(千円)	最終予算額(千円)
一般会計補正予算	△1,505,137	139,492,009
国民健康保険事業会計補正予算	△83,623	35,977,135
老人保健医療特別会計補正予算	15,916	38,917
後期高齢者医療特別会計補正予算	△259,649	6,099,882
介護保険特別会計補正予算	130,472	17,862,932

予算特別委員会 総括質疑

予算特別委員会の最終日に、各党派を代表して11名の委員が、各会計歳入歳出予算の全般にわたり総括質疑を行いました。以下概要をお知らせします。

- 井桁 敦子 委員(自民)**
 - 1 環境(CO2の削減、浄化事業の効果および周知など目黒川周辺の環境と活用、しながわ水族館設備投資額等)について
 - 2 小中一貫校品川学園の隣地の購入(利用対象、駐車場・駐輪場の整備、観覧スペースの確保など地域開放の取り扱い)について
- 鈴木 真澄 委員(自民)**
 - 1 東北地方太平洋沖地震に伴う区の対応について
 - 2 今後の区政運営の基本的な考え方について
 - 3 待機児童対策(平成23年度以降の対応、保育園の改築計画等)について
 - 4 高齢者福祉(第5期介護保険事業計画等)について
 - 5 小中一貫教育について
- 金野 孝子 委員(公明)**
 - 1 防災対策(東北地方太平洋沖地震における区の情報収集と情報提供、防災ハンドブックの改訂、耐震改修助成の拡充、区民への周知、防災訓練の実施状況など学校避難所、地域防犯計画の見直しの検討など津波と高潮対策)について
 - 浅野 浩之 委員(公明)**
 - 1 ICTの活用方針と戦略について
 - 2 高齢者の生活支援サービス(地域見守りネットワーク、シルバー交番事業、ICTを活用した安否確認、買い物支援サービス)について
 - 3 商店街支援(ユビキタス商店街プロジェクト、セカイカメラの活用)について
- 中塚 亮 委員(共産)**
 - 1 東北地方太平洋沖地震(被災者の受け入れ、高齢者、障害者や子どもたちへの対応、宮古市の被災者対応、災害者支援対策本部、被災者対応のための総合窓口の設置)について
 - 2 住宅耐震化(耐震化率90%の目標、まちづくりマスタープラン)について
- 南 恵子 委員(共産)**
 - 1 保育園(首都直下型地震に伴う受け入れ態勢、入園希望者数、入園可能数や0〜2歳児の割合など平成23年4月の入園状況、23年度の受け入れ拡大数の内訳、待機児童対策、保育需要の予測、認可保育園の増設)について
 - 石田 慎吾 委員(民主)**
 - 1 安心安全のまちづくり(区有施設の窓ガラス対策など避難所、災害時の連携、中小企業への融資制度など今後の取り組み、中央環状品川線五反田換気塔)について
 - 2 事務事業評価(成果、5年ぶりに実施した理由、削減額、外部評価と事業仕分け等)について
 - 川西 絹子 委員(民主)**
 - 1 目黒川の浄化(今後の施策のあり方、財源確保、ヘドロの浚渫、上流区への働きかけ、温暖化防止と原子力発電)について
 - 2 子どもたちが発想した公園(今後の公園整備への活かし方、公園への周知)について
 - 高橋 慎司 委員(無所属)**
 - 1 震災と幼・保・小・中の体制について
 - 2 小中学校における新学習指導要領という視点からの特別活動について
 - 3 地域コミュニティ形成と公園のあり方について
 - 4 児童相談所の移管に伴う事業の再構築について
 - 西本 貴子 委員(無所属)**
 - 1 屋上菜園(マイガーデン、屋上活用)の考え方、ボランティアの活用等)について
 - 2 職員の人材育成(退職者数、育成方針、めざすべき職員像等)について
 - 3 子育て(保幼小の連携、一日保育士体験による親への教育、これからの保育)について
 - 井上八重子 委員(ネット)**
 - 1 東北地方太平洋沖地震(原発事故における放射能汚染)について
 - 2 学校間格差(教師の体調不良に伴う教育環境の確保、スクールステイ事業、学力向上プラン)について
 - 3 事務事業評価(区民への公開、区民参加型の事業評価)について